

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 人間科学部 心身健康科学科

名 前 佐藤 弘子

作成日 2025年4月16日

### 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

私は人間科学部心身健康科学科に看護教員養成コースを開設し、看護師等養成所（看護師・保健師・助産師・准看護師を養成する専門学校）の専任教員の資格を取得することができる看護教員養成プログラム（厚生労働省が認定する通信制の専任教員養成講習会）を運営しています。

本学が専任教員の資格を証する修了書を交付するためには、開催年度毎に厚生労働省へ認定申請し認定を受ける必要があるため、認定申請書及び開催年度毎の報告書を作成し提出しています。

また、本プログラムは看護師等の業務従事経験が5年以上の方を対象としています。学び直しにより新たな資格を取得するとともに職業実践力を向上させることができるため、文部科学省の職業実践力育成プログラム（BP）の認定を受けるために、認定・変更・定期確認に係る書類を作成し提出しています。

他、事業提携校の東京健康科学大学ベトナムにおいては、教務部長としてカリキュラム管理等を行っています。

【担当科目名】看護教員養成プログラム必修科目（配当年次3・4年）「看護教育方法演習」  
「専門領域別看護論演習」「看護学校組織運営論」「看護教育課程演習」  
「看護教育実習」

【教育活動】看護教員養成コースの企画・運営、ハラスメント委員会委員、広報委員会委員、  
東京健康科学大学ベトナム教務部長

### 2. 理念（教育に対する考え方）

看護教員養成コースでは、現代社会そして今を生きる人間に深い関心を持ち、新しい展望と視座に立って、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築に寄与できる能力をもつ看護教員の養成を目指しています。

今、日本では、看護師等の医療従事者の慢性的なマンパワーの不足が課題となっており、人材の養成は急務です。

心身ともに健康で豊かに暮らすには、質の高い看護サービスを提供できる看護職を育成する看護師等養成所の専任教員の存在はとても重要です。

現在、看護基礎教育においてはカリキュラムのみならず、教育方法に至るまで大きな転換期にあります。このような時代の中で、社会のニーズに対応できる柔軟性と先見性を持ち、人々の健康と幸福に寄与できる人材を育成する看護教員を目指す皆さんを全力で応援いたします。

### 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

看護教員養成コースの看護教員養成プログラムを受講されている学生は、5年以上の臨床経験を有する社会人であり、殆どの学生が働きながら本プログラムを受講しています。

学生には自身の「こころ」と「からだ」の健康を大切にし、継続して学修する態度を身につけ、持続的に看護基礎教育へ貢献できる基盤づくりをしてほしいと考えております。

科目の構成上、演習科目も複数あり、スクーリング以外の時間でもUHAS@Myキャンパスを通じてグループメンバーとグループワークをしていきますが、お互いに無理のないように、そして効率的・効果的に進めることができるような環境をつくっています。

また、本プログラムにおけるスクーリングはオンラインで実施されていますが、各学生の当日の通信環境により接続が切れる場合もあるため、毎回録画した授業動画を復習用のビデオ教材として編集し、UHAS@Myキャンパス掲出しています。このように、学生が繰り返し視聴して復習できる環境も準備しています。

毎年、全国から学生が看護教員養成コースに入学されますが、可能な限り学生が居住する都道府県内で看護教育実習が実施できるよう、実習校が確保できるよう調整しています。

#### 4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

看護教員養成コースの専任教員の資格取得にかかる現行のプログラム「看護教員養成プログラム（33単位）」は、「専任教員養成講習会及び教務主任養成講習会ガイドライン（令和3年12月27日、厚生労働省）」（以下「ガイドライン」）に準拠し、43項目の到達目標を目指して学修。

本プログラム履修終了時のアンケート結果によると、ガイドラインにおける43項目の到達目標におおむね到達できたという回答をいただいています。これからも学修のニーズに応え、さらなる学修環境の向上に注力します。

##### 【アンケート】

「看護教員養成プログラム修了時における到達目標の達成度について」

「看護教員養成プログラム 通信教育課程について」

#### 5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

- ・看護教育実習校の確保及び実習受け入れについての協力要請
- ・看護教育実習の実習要項について、学生が理解しやすい内容になるための見直し
- ・オンライン授業の受講やプレゼンテーションの実施に係るリテラシー向上を目的としたオリエンテーションの充実
- ・アンケートによって得られた学修ニーズにおける課題の改善

※各項目の達成目標時期は年度末